

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-1 生活支援の基本と権利擁護

			第三者評価結果
A-1-(1) 生活支援の基本			
1	A-1-(1)-①	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるように工夫している。	a
<コメント> 入所前に自宅訪問し利用者一人ひとりの興味関心リストを作り入所後の施設サービス計画に反映している。絵や音楽・編み物など特技がある方には、講師になってもらい活躍の場を作っている。			
2	A-1-(1)-②	利用者の心身の状況に合わせて自立した生活が営めるよう支援している。	a
<コメント> 入所前に自宅訪問し、ベッドの位置や高さ・硬さ等を調査して、自宅の環境に合わせた居室にしている。退所後には自己管理できるように、身体機能の維持と向上を目指してリハビリテーションを行っている。また毎月の行事では利用者同士の交流を図り社会性や認知機能の維持向上に取り組んでいる。			
3	A-1-(1)-③	利用者の心身の状況に応じた生活支援(生活相談等)を行っている。	a
<コメント> 一人ひとりの身体機能や環境に合わせたプログラムを作成しケアにあたっている。家族等や生活困窮者には社会福祉支援事業や後見人制度等があることを生活相談時に説明している。利用者との相談時には全職員が同じ目線で対応し生活支援を行っている。			
4	A-1-(1)-④	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	a
<コメント> 利用者一人ひとりに寄り添った個別的な支援をしている。病状や精神疾患でコミュニケーションが取れない場合、手書きボードや手話を使い意思疎通を行っている。また支援方法についてその都度見直しにより必要な取り組みをしている。			
A-1-(2) 権利擁護			
5	A-1-(2)-①	利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 施設は運営規程に身体拘束適正化や虐待の防止を明記し委員会も設置している。権利擁護の研修を重ね職員全体の理解を深めて利用者・家族等にも説明している。権利侵害等がないよう虐待の目チェックリストでの確認や環境のチェックも行って、利用者の安全・安心に取り組んでいる。			

A-2 環境の整備

			第三者評価結果
A-2-(1) 利用者の快適性への配慮			
6	A-2-(1)-①	福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	a
<コメント> 施設は冷暖房空調設備により管理され、温湿度計も設置して随時確認を行って快適さを保っている。居室での生活は利用者の退所に向けて、自宅での生活に配慮してベッドの高さや硬さなども同じように調整し快適に過ごせるように支援している。			

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-3 生活支援

			第三者評価結果
A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援			
7	A-3-(1)-①	入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<コメント> 入浴には個浴やリフト浴、また座位・臥床式の機械浴を備えて利用者の身体状況に合わせた支援を行っている。入浴前には脱衣室や浴室・湯温、健康チェックを行っており、滑り止めの設置や足ふきマットの都度交換を行い安全・安心を確保している。			
8	A-3-(1)-②	排泄の支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<コメント> 排泄のチェック表や定時に合わせたトイレ誘導を行った結果、オムツからリハビリパンツに変わりレベルアップした方もいる。日常生活動作に変化が観られた場合は、多職種連携して検討と見直しを行い、利用者にとって最善の支援を行っている。トイレ誘導時やトイレ内でも羞恥心に配慮して自立排泄を促している。			
9	A-3-(1)-③	移動支援を利用者の心身の状況に合わせ行っている。	a
<コメント> 利用者の身体の状態、意向を考慮して多職種連携しながら検討し、自立歩行に向けて計画的に対応をしている。理学療法や作業療法等を行い、また歩行には見守りや介助をしながら退所後の自立を目指した支援を行っている。			
A-3-(2) 食生活			
10	A-3-(2)-①	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a
<コメント> 利用者が「おいしかった」と好評な献立を定期的に取り入れたり、誕生日にはケーキの提供もあり、食事を楽しめる工夫を行っている。体調が悪く食事が進まない方には、栄養補助食品の提供など個別に配慮も行っている。			
11	A-3-(2)-②	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<コメント> 経口摂取の維持に向け、併設病院との連携により施設内で嚥下内視鏡検査を実施できるメリットがある。経管栄養から経口移行への実績もあり、職員の嚥下評価や食事介助方法等のスキルアップにも繋がっている。			
12	A-3-(2)-③	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a
<コメント> 口腔衛生の管理体制のもと定期的に協力歯科医院及び歯科衛生士より口腔衛生に関する技術指導を受けながら口腔ケアを行っている。治療等が必要な際は、歯科医師より往診を受けている。			
A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア			
13	A-3-(3)-①	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a
<コメント> 併設病院の皮膚・排泄ケア認定看護師より褥瘡の処置の指導や研修の協力を得て、褥瘡ケアを行ったり、発生予防に努めている。			
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養			
14	A-3-(4)-①	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a
<コメント> 24時間の看護体制のもと喀痰吸引・経管栄養等を実施している。喀痰吸引等研修を修了している介護職員はいるものの、看護師の実施で充足されている。今後、介護職員も喀痰吸引・経管栄養等の実施に向けて検討している。			

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-3-(5) 機能訓練、介護予防		
15	A-3-(5)-① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a
<コメント> 介護老人保健施設はリハビリテーションの特色として、理学療法士・作業療法士等の専門職の配置も充実している。また入所前訪問による在宅復帰に向けた家庭環境の把握や個別の機能訓練等も行っている。		
A-3-(6) 認知症ケア		
16	A-3-(6)-① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	a
<コメント> 入所後の居住環境については、在宅生活等にて身近にあったものや愛着のあるものを居室に置いて安心して過ごせる空間づくり、居場所づくりに配慮している。利用者の要望や気持ちに寄り添って家族等と電話で会話できるようにしたり、安心して生活が出来るように支援している。		
17	A-3-(7)-① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	a
<コメント> 利用者の健康チェックや排泄も含めた身体的ケアなどにおいて、いつもと違った状態変化があれば看護・介護マニュアルに沿って看護師に報告する対応を行っている。		
A-3-(8) 終末期の対応		
18	A-3-(8)-① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	a
<コメント> 看取りに関する指針・マニュアルに基づき、ターミナル(終末期)委員会にて終末期と判断された利用者の家族等へ説明し同意を得たうえで、終末期ケアを実施している。新人研修や終末期ケアでのOJT(職場内訓練)を行っているが、更に併設病院の緩和ケア認定看護師より研修の協力を得て終末期ケアに活かしている。終末期ケア終了後も家族等へアンケートを依頼し、満足度を把握し改善に努めている。		

A-4 家族等との連携

		第三者評価結果
A-4-(1) 家族等との連携		
19	A-4-(1)-① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	a
<コメント> 施設サービス計画の更新時には家族等からの意向・要望等を確認し作成している。面会時や電話等で利用者の生活の様子など連絡を行っている。		

A-5 サービス提供体制

		第三者評価結果
A-5-(1) 安定的・継続的なサービス提供体制		
20	A-5-(1)-① 安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	a
<コメント> サービスの実施方法の手順書・マニュアルを閲覧にて活用しており、各フロアにおけるミーティング等で利用者の状況を共有している。必要に応じて、併設病院の専門職からの処置やケアの方法等の指導・助言を受け、職員のスキルアップに努めている。		